



川の自然再生とは？

- 川本来の姿をよみがえらせる川づくりのこと。
- 矢作川自然再生は、過去から現在にかけて失われた干潟やヨシ原を再生させ、多くの水辺の生きもののすみかとなる豊かな環境づくりを行うものです。

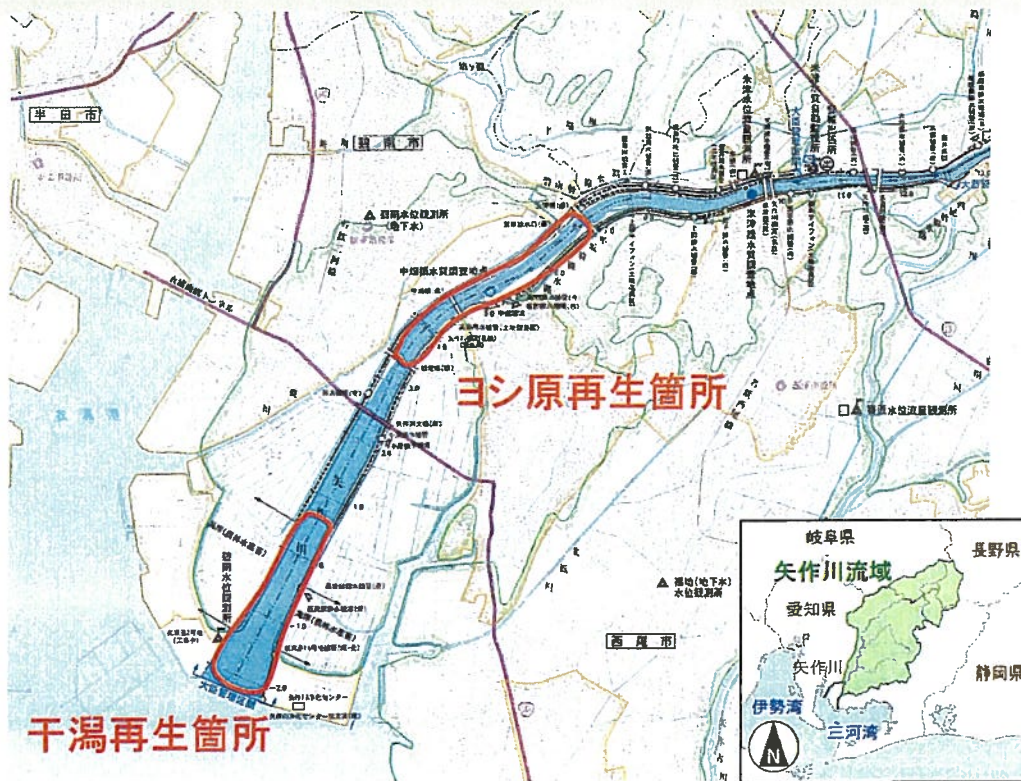


干潟

ヨシ原



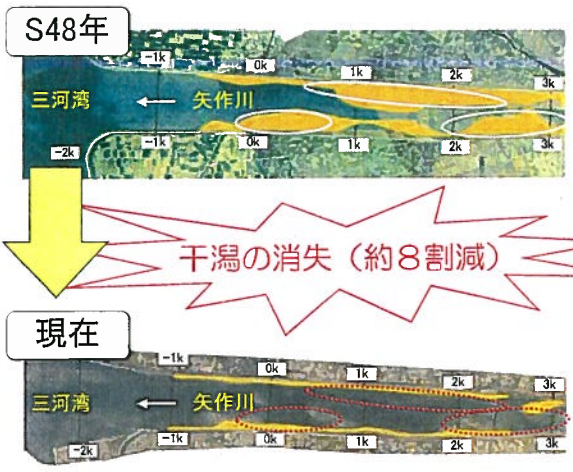
自然再生の取り組み箇所（計画含む）



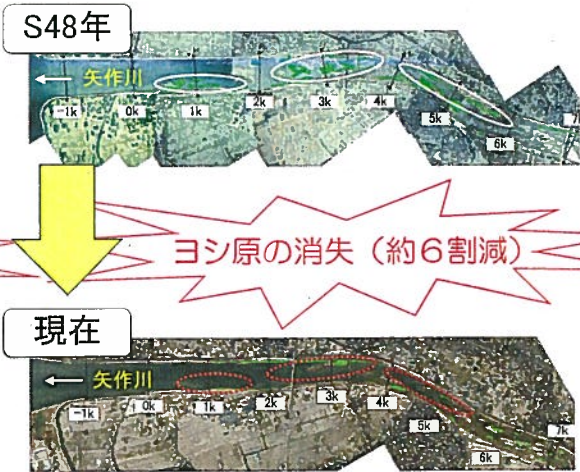
干潟・ヨシ原の変遷（昔と今）

- 昭和40～50年代に盛んに行われた河川土砂の持ち出しなどによって川底が低くなり、干潟は少なくなりました。
- ヨシは水が浸かるところに生える植物ですが、昔に比べて川岸に水が浸かりにくくなり、ヨシ原は少なくなりました。

●干潟



●ヨシ原



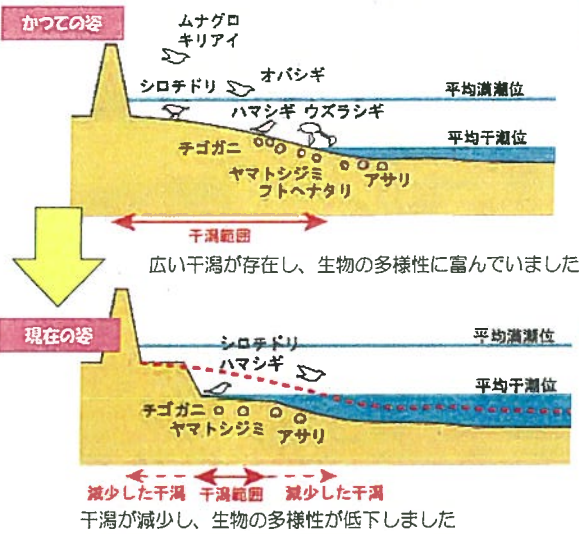
干潟の消失（約8割減）

ヨシ原の消失（約6割減）

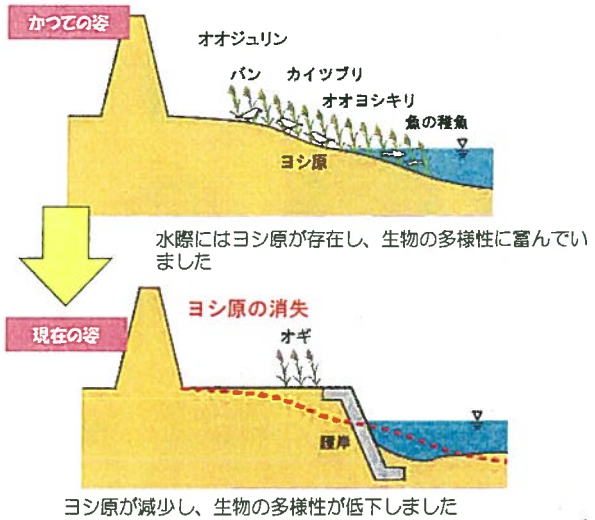
干潟・ヨシ原が減るとどうなるの？

- 干潟・ヨシ原には、野鳥やカニ類、小魚など、特徴的なさまざまな生きもののすみかとなり、生物多様性の高い環境です。
- 干潟・ヨシ原の減少にともない、生物多様性が減少しました。

●干潟



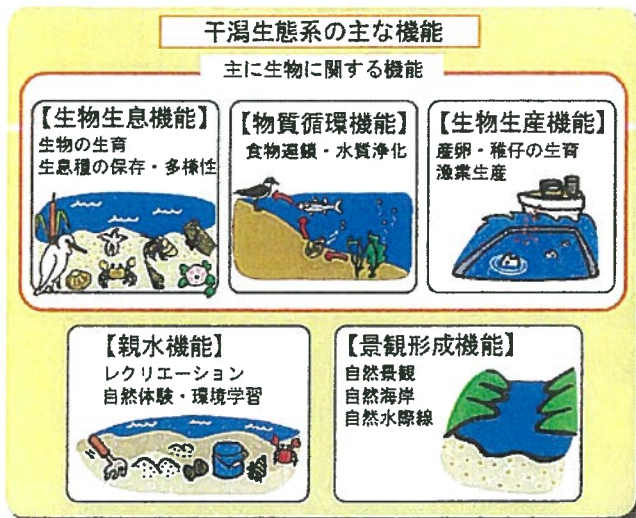
●ヨシ原



4

干潟にはどんな機能があるの？

- 海と陸(川)が接する場所として、多様な生物の生息・生育場となり、高い生物生産力を有しています(アサリ、シジミにも必要)。
- 渡り鳥のシギ・チドリ類は、渡りの中継地として三河湾の干潟を利用しており、重要な環境です。



(出典:「干潟生態系に関する環境評価技術ガイドライン」環境省)



シギ・チドリ類の移動ルート

出典:干潟を利用する渡り鳥の現状『地球環境』Vol.11 No.2(2006)

5

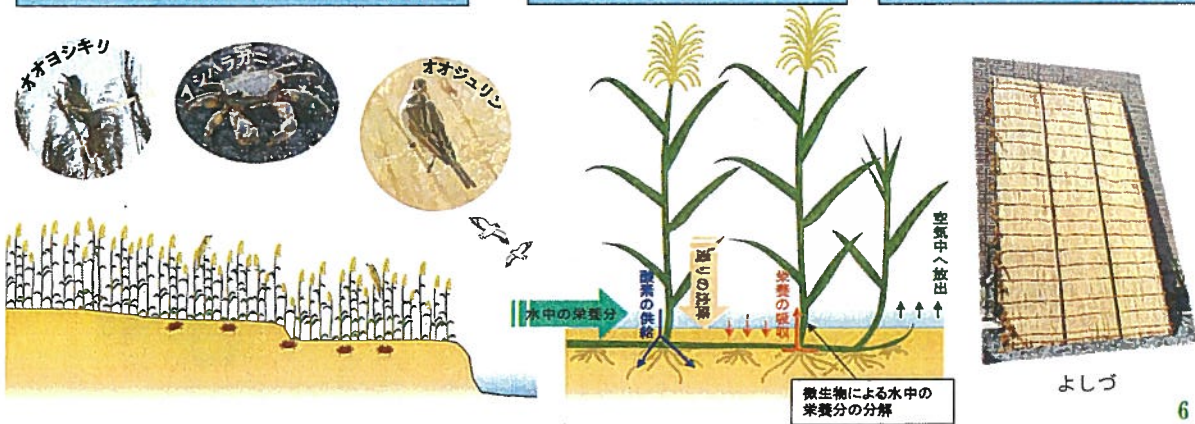
ヨシ原にはどんな機能があるの？

- ヨシは、さまざまな生きものの生息機能をもっています。
(オオヨシキリなどの多くの野鳥のすみか、子育ての場となります。ヨシの根元には、多くのカニがすんでいます。また、水につかっている間は小魚も入ってきます)
- 水質をきれいにする浄化機能、人の生活への利用(よしづなど)の役割も果たしています。

多くの生き物のすみかになります

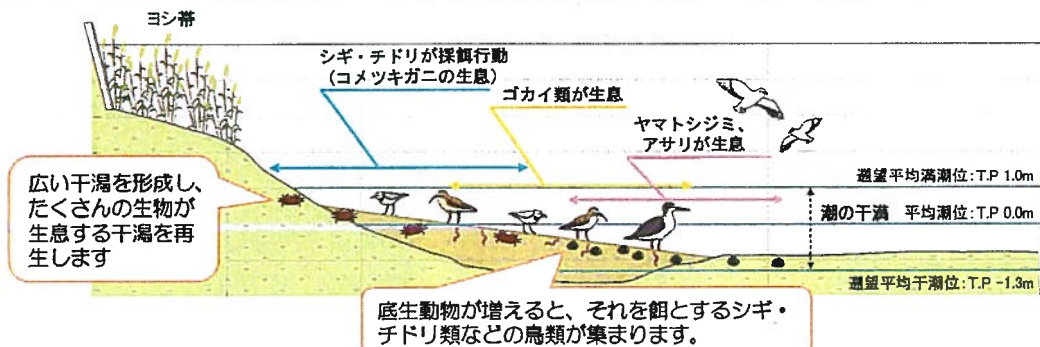
水をきれいにします

人の生活に役立ちます



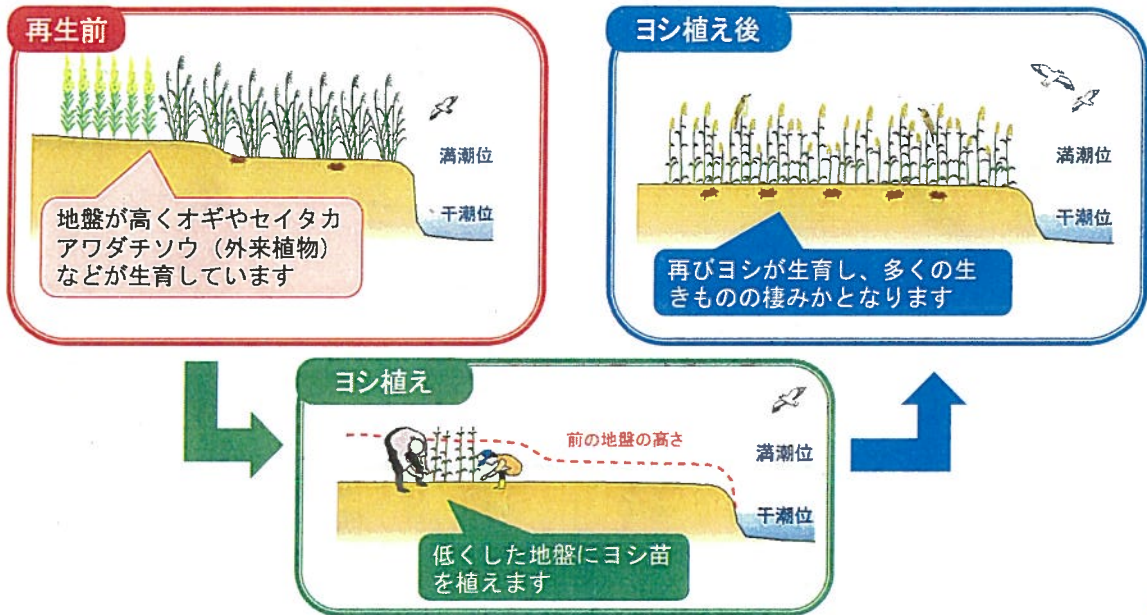
取り組み内容 (干潟再生)

- 地盤の低い箇所に、矢作川の土砂(砂)を入れることで広い干潟環境を再生しています。



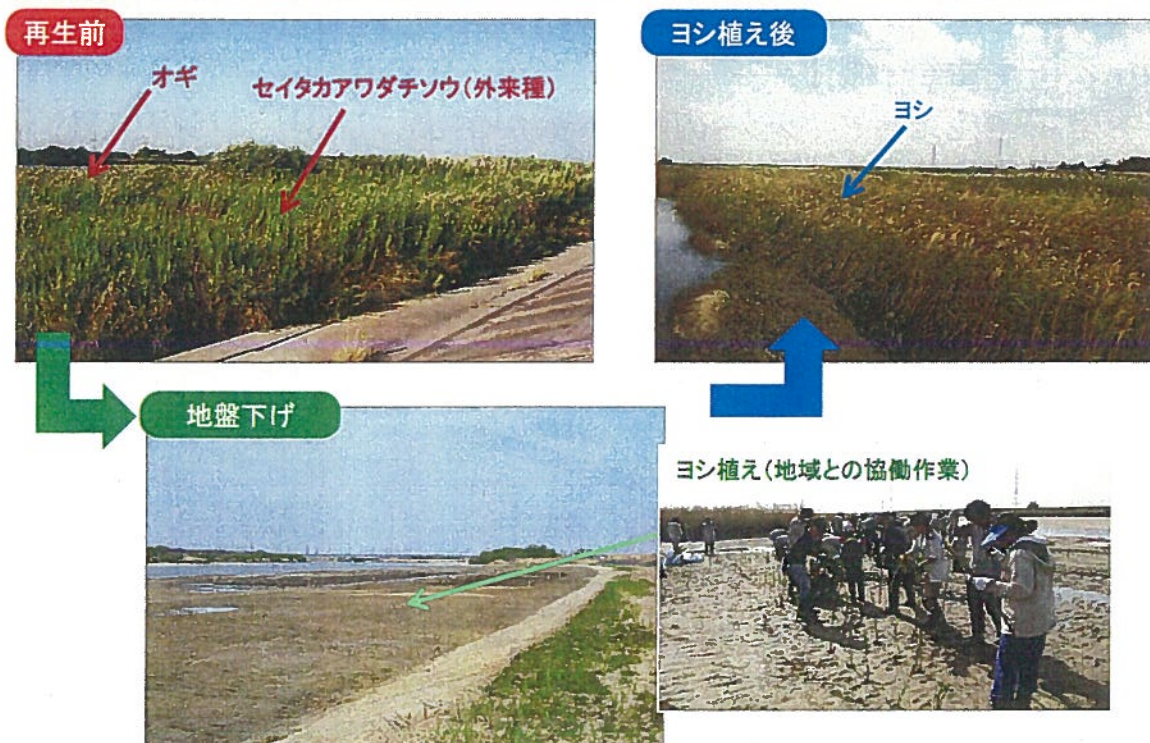
取り組み内容（ヨシ原再生）

- ヨシ原再生は、地盤を低く下げて水を浸かりやすくすることで、ヨシを再び生えやすくします。また部分的にヨシ苗を植えて、ヨシが早期に生えるように工夫しています。



8

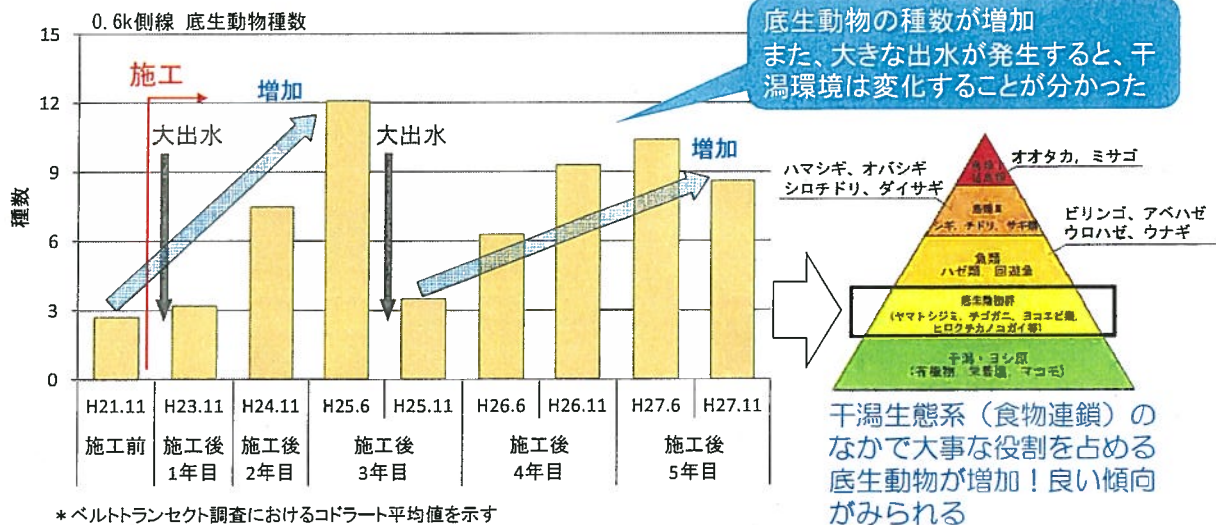
取り組み内容（ヨシ原再生）



9

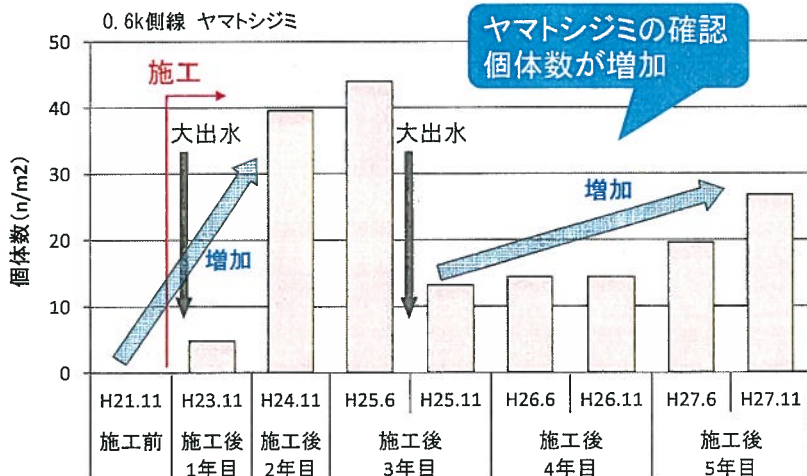
再生効果はどうか？（干潟）

- 施工した箇所では、底生生物(カニや二枚貝、ゴカイ等、川底に生きる生きものの総称)の種数が増加してきています。
- 干潟再生によって、多くの種が定着できる環境ができました。



再生効果はどうか？（干潟）

- 干潟は、ヤマトシジミやアサリなどの食用二枚貝にとって、生長していく上で重要な環境です。
- 干潟再生によって、シジミの個体数が増加しており、シジミに良い環境ができました。また、アサリやハマグリも確認されています。



再生効果はどうか？（干潟）

- 再生した干潟を利用するさまざまなシギ・チドリ類（鳥鳥類）が確認されています。干潟再生によって、餌を採ったり、休息する環境が増えたと考えられます。

再生した干潟で確認された
主なシギ・チドリ類



アオアシシギ



チュウシャクシギ



シロチドリ



ダイシャクシギ



ソリハシシギ

写真出典：日本の鳥550 水辺の鳥

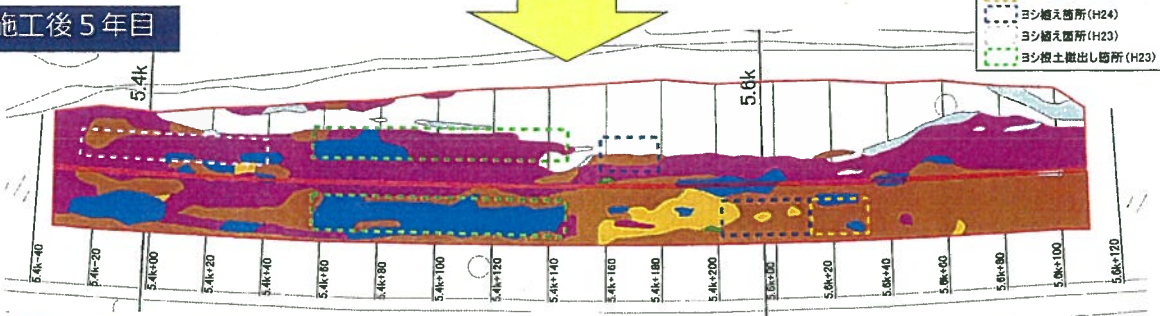
再生効果はどうか？（ヨシ原）

- ヨシの面積は、施工後に増えてきています。

施工後1年目



施工後5年目

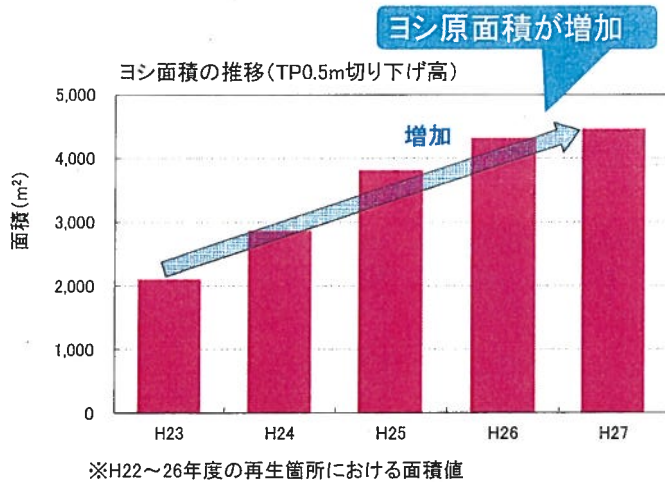


※色箇所がヨシが生えているところ

※非着色箇所は、植生がない

再生効果はどうか？（ヨシ原）

- ヨシ原の面積は、取り組み後、着実に増えてきています。
- 絶滅のおそれのある植物（タコノアシ、シロネ）が、ヨシ再生後に定着しています。取り組みによって、水が浸かりやすい地盤が出来たことで貴重な種が生育できるようになりました。



タコノアシ
(環境省、愛知県の絶滅危惧種)

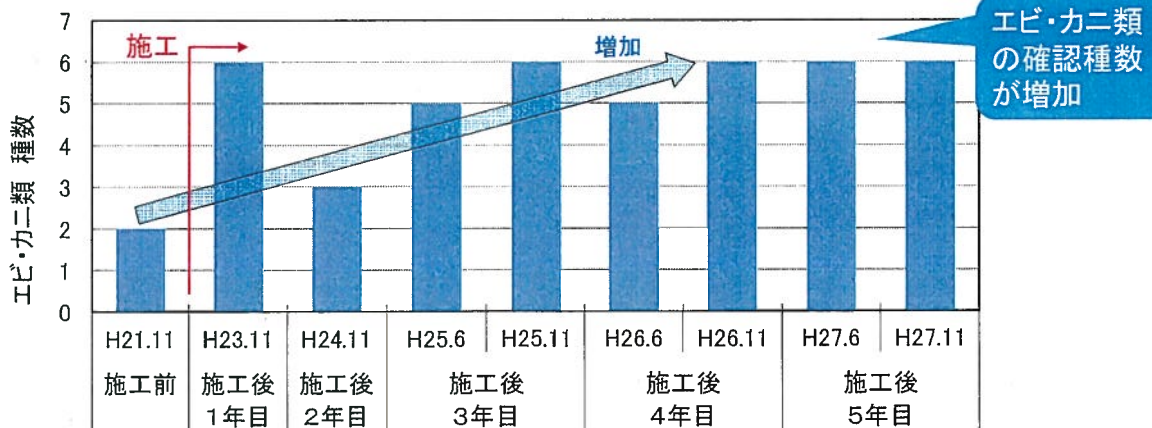


シロネ (愛知県の絶滅危惧種)

14

再生効果はどうか？（ヨシ原）

- カニ類など確認種数が増加しています。



クロベンケイガニ



アカテガニ



ベンケイガニ



モズクガニ

15

再生効果はどうか？（ヨシ原）

- ヨシ原を利用する多くの生きものの利用が確認されています。（オオヨシキリ、オオジュリンなどの鳥類、カヤネズミなど）



オオヨシキリ(右は営巣跡)



オオジュリン



カヤネズミ(右は巣跡)

左写真出典:フィールドベスト図鑑12日本の哺乳類(学研)

16

今後、注意が必要なこと（外来種）

- 矢作川においても、近年外来種が増加している傾向にあります。
- ヨシ原再生箇所でも、セイタカアワダチソウが侵入しているため、これらの外来種の管理についても今後考えていく必要があります。

外来種（外来生物）とは？

現在の自然分布域外に人間活動によって導入された生物のこと。生存し繁殖することができる器官（種子など）の状態でも侵入したものを含む。

外来種（外来生物）はどうして悪いの？

矢作川にもともといる在来種が駆逐されたり、競争関係になったりします。**【生物多様性の劣化】**
他にも、在来種と交雑したり、農作物に被害を与えたりします。



セイタカアワダチソウ

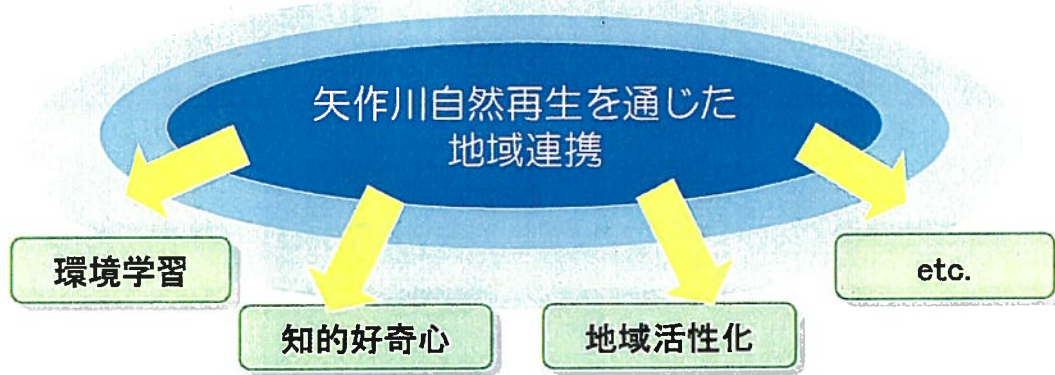
他の植物を追いやってしまいます！

繁殖力・生存力が強いので、在来生物の資源（光・えさ）を奪い、在来生物を駆逐したりします

17

今後の方向性（地域との連携）

- 今後も、地域の皆さんと連携した取り組みを進めていきます。そのため、事業の説明やPR等を充実させ、広く地域の方々へ周知していきます。
- 自然再生による連携を通じて、環境学習、知的好奇心の高まり、地域活性化などさまざまな効果が期待されます。



地域連携による効果イメージ

18

ヨシ植えイベントのお知らせ

- 平成28年4月下旬に、地域の皆さんといっしょにヨシ植えイベントを開催予定です。
- 詳細は、後日事務所HP等で告知します。



生きもの観察もあわせて実施予定！

19